令和８年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策　　【松江市立 義務教育学校八束学園後期課程 】

(1)学力調査結果から見られた傾向

教科		分析(成果○，課題●)	改善策(・)
国語	成果	○記述式の問題の正答率は全て全国・県平均を5ポイント以上上回っていて、自分の考えを文章にまとめる力が身に付いている。	・引き続き各単元のまとめとして自分の考えを文章化する活動を設定していく。 ・複数の資料を組み合わせて読み取るような活動を取り入れる。
	課題	●短答式の問題の正答率は低く、特に、長文中から別の資料に関する表現を抜き出す問題は無回答が多かった。	
数学	成果	○数と式、図形の領域の正答率は全国、県と比較して大きく上回っている。	・学び合い活動等を通して、考えを書いたり、言語化したりする場面を設定する。 ・語句の意味の定着をはかる。
	課題	●記述式の問題は、全国、県と比較して考えた場合大きな課題とは感じられないが、正答率の低さ、無回答率の高さは選択式、短答式の問題と比較すると目立つ。	
英語（成果または課題で話すことについて触れること）	成果	○日常的な話題について、聞くこと・読むことの正答率は全国や県と比べても高い割合が多い。	・基礎基本の定着を促す反復学習。 ・英作文演習の継続的な取組。
	課題	●与えられた条件に従って書くことの正答率は低い。無回答の割合も多く、英作文に対して苦手意識があることがわかる。話すことについては、自分のまちを訪れるのにおすすめの季節とその理由を話す問題の無回答が多かった。	

(2)質問紙調査から見られた傾向

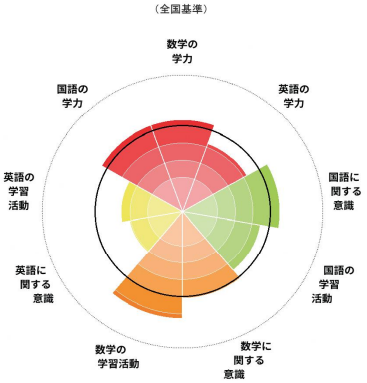
		分析(成果○：強み/伸ばしたい点，課題●：弱み)	改善策(・)
質問紙	成果	○授業におけるICT機器の使用率が高く、自分の考えを分かりやすく伝えたり、調べたことを発表したりすることにうまく活用できている。	・自学ノートの提出を継続させるとともに、それぞれの進路実現に向けて目標をもって学習に取り組む姿勢を支援する。
	課題	●SNSの利用や動画視聴の時間が長く、学習時間や読書時間の減少につながっていることが推測される。	

(3)その他、今後校内研究等学校全体で特に力を入れて取り組むこと

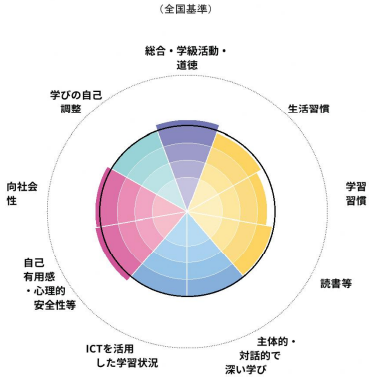
学校全体	・前期課程・後期課程を交えた教科部会を実施し、各教科における課題やその克服方法、身に付けさせたい力について考え、9年間の学びの連続性を意識できるような学習計画を立案する。 ・総合的な学習の時間や各教科の授業の中で自らの考えを発表する際に、相手の立場に立って分かりやすい伝え方や表現の方法ができるように指導する。

(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)

［教科を中心とした学力・学習状況］



［その他の学力・学習状況（学習習慣、自己有用感等）］



【受検者数】

26 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。

(5)質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)

